

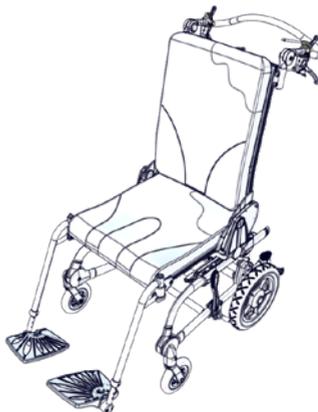
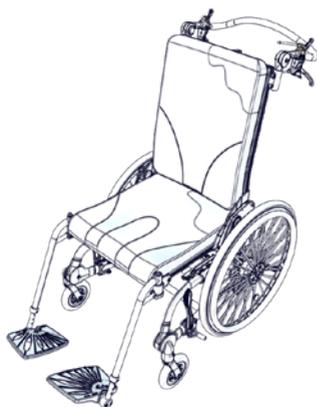


User manual

Cougar

R82[®]
by Etac

M1060 - 2024-04-15 - Rev. 10.0



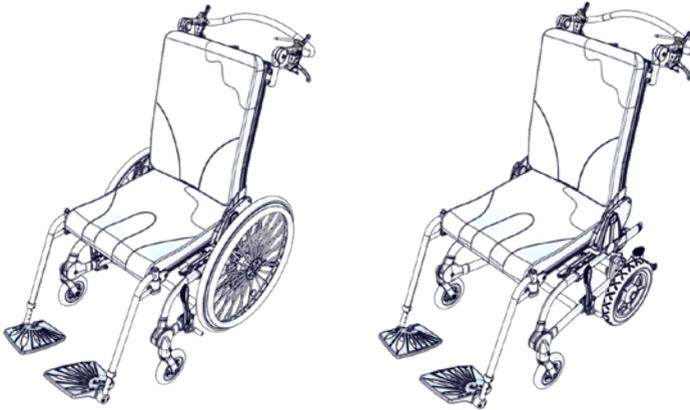
www.etac.com



cougar[™]

取扱説明書

輸入代理店
テクノグリーン株式会社
〒530-0015 大阪市北区中崎西1丁目4番2号 梅田東ビル
TEL (06) 6371-0104 FAX (06) 6371-6400



Norwegian Design Reg. No. 80196

JP 目次

使用目的 - 準拠の宣言 - 廃棄.....	3
安全性.....	4
サービス情報.....	5
付属品.....	6
ご使用前の準備について.....	8
車いすの乗り降りについて.....	9
ガスダンパーの調整.....	10
クイックリリース機構.....	11
座面（ティルト）&背もたれリクライニング機構.....	12
プッシュプレス取付方法.....	13
プッシュプレス調節.....	13
転倒防止バー.....	14
ランバーサポート調節.....	14
レッグレスト&フットプレート.....	15
シート高さ調節.....	16
スライドバー調節機構.....	16
座面奥行き調節.....	17
ブレーキレバー.....	18
ドラムブレーキ.....	19
前・後輪車輪の組合せ.....	19
重心位置の変更.....	20
各種背もたれ.....	21
泥よけ.....	21
サイドプレート付アームレスト&アームレスト延長部.....	22
スポークカバー.....	23
フットサポート取付.....	23
レッグサポート.....	24
呼吸器搭載台.....	25
テーブル.....	25
内転パット.....	26
ヒップサポート.....	26
ヘッドサポート.....	27
ベスト&ベルト.....	27
フィックスロック.....	28
製品識別.....	29
寸法表.....	30
製品安全性.....	31
テクニカルデータ.....	32
製造者.....	32

by Etac

一般

本製品は、R82社（デンマーク）の長年にわたる経験によって開発されました。ご使用前に本取扱説明書を良くお読みいただき、大切に保管してください。

使用目的

この器具は、障害のある子どもと成人のための車椅子です。

適応

この器具は、座位を維持したり、補助器具を使用しないと移動することができない、障害のある子どもと成人に使用することができます。したがって、この器具の使用対象者は、特定の健康状態や年齢ではなく機能的能力に基づいて決まります。

ユーザーとは本製品に座る人のことです。介助者とは、本製品を操作する人のことです。本製品を使用する場合は、必ず介助者が付き添ってください。介助者による常時監督が必要です。

本製品の使用が中断されるのは、日中の方が多くなります。その間は、ユーザーが横になったり、別の補助器具や従来型の製品で立ったり、座ったりするからです。

本製品は、22 kgから指定最大体重までの小児および成人の移動用に適しています。

禁忌

既知の禁忌はありません

使用上の注意

次の機能に制限があるユーザーに関しては、製品の構成と付属品の使用について特別な注意が必要です。

- ・ 感覚機能と痛みの感覚に関しては、機器本体および付属品のサポートにより生じる圧力について追加のチェックを検討してください。
- ・ 運動機能（不随意運動がある等）に関しては、可動式のバックレストを備えた機器の使用を検討してください。
- ・ 着座位置を維持したい場合は、機器本体と共に付属品（サイドサポート、ベスト、ベルト、またはアームサポート、トレイなど）をご利用ください。
- ・ 頭部の位置を維持する能力 - 付属品の使用を検討するか、頭部の位置固定をサポートする製品の使用を検討してください。

適用領域

本製品は屋内、屋外で使用するためのものです

付属工具：

- ・ 4mm 5mmレンチと
- ・ 13 mmスパナ

 準拠の宣言

本製品は、医療機器規制(2017/745)の要件に準拠しています。さらに、本製品は、次の要件に準拠しています：

- ・ EN 12183

CEマークは以下の場合には取り外さなければなりません。

- ・ 製品を再構築する場合
- ・ 意図された目的と適合宣言の範囲外での製品を使用する場合
- ・ 正規のR82予備部品および付属品以外を使用する場合

デバイスを他の製品と組み合わせる場合、その組み合わせにより製品の用途が変更されてはいけません。また、適用される要件への準拠が影響を受けような方法で、製品を改造してはいけません。製品の組み合わせに責任を負う担当者/会社は、適用される要件を確実に満たすようにする必要があります。

適用される要件の例：

- ・ 物質の安全性（生体適合性、可燃性）
- ・ 機械的安全性（安定性、圧迫の危険、相互接続）、電気的安全性

 廃棄

廃棄される場合、それぞれの部品を材料別に区分し、リサイクルと廃棄物に適切に分類してください。各材料の正確な情報は、販売店にお問い合わせください。リサイクルに関する情報は、自治体にお問い合わせください。

アクセサリ・各種部品

R82社製品には、個々のご利用者様のニーズに応じた様々なアクセサリをご用意しております。部品も必要に応じてご注文いただけます。詳しくは、Webサイトで検索するか、販売店にお問い合わせください。

R82保証

www.etac.com/support

販売前の情報と手順

販売前の情報と手順は、www.etac.comで、お使いの製品名の下にあるドキュメントセクションから入手できます。

by Etac

安全性

本製品に配置されている、サイン、記号、説明は隠したり、取除いたりせず常に見える状態に保ってください。判読できない、損傷した場合は、すぐに交換又は修復してください。詳しくはお買い求めいただいた販売店にご相談ください。

デバイスに関連して有害事象が生じた場合、そのインシデントは地元のディーラーおよび国の所轄当局に適時に報告する必要があります。地元のディーラーはその情報をメーカーに転送します。

製品の安全に関するお知らせやリコールに関する情報、お近くの販売店の情報は、etac.com をご覧ください。

介助者

- ・ ご使用前に本取扱説明書を良くお読みいただき、大切に保管してください。誤ったご使用方法はお怪我の原因になります。
- ・ 製品またはアクセサリーの設定と調整を行う前に、必ず、ユーザーガイドをお読みになった上で、製品アドバイザーから必要な指示を受けてください。
- ・ 本製品には、所定位置から取り外された場合に窒息の危険性を引き起こす可能性がある小さな部品が含まれています。
- ・ 持ち上げる際は、正しい方法で行ってください。
- ・ 本製品使用中は絶対に、ユーザーを一人にしないでください。必ず介護者が付き添ってください
- ・ 調整する前に最大マークの表示に注意してください
- ・ 修理/交換の際は、R82社製純正部品をご使用ください。
- ・ 安全性の不明な点や、部品に不具合が生じた場合は、直ちにご使用をお止めいただき、販売店にご相談ください。
- ・ 可動部品の調節時には、身体部分が挟み込まれないように注意してください
- ・ サポート/アクセサリー取り付け口に、何も引っかかかっていないかを確認してください。
- ・ 輸送については、本製品に付属する文書「M1460 Transportation in Motor Vehicles」を参照してください。

- ・ 走行能力については、本製品に付属する文書「走行能力」を参照してください

ご利用者様

- ・ ユーザーが搭乗する前に、製品の表面温度を確認してください。ユーザーの皮膚が無感覚であり、熱を感じることはできないときは、特に注意してください。表面温度が41°Cを超えるときは、製品の温度が下がってから使用してください。
- ・ 本製品は障害物のない平地でご使用ください。滑りやすい道路では操作性が損なう可能性がありますのでご注意ください。
- ・ 傾斜面でご使用される場合（寸法表ご参照）

ご利用者様

- ・ ご利用者様の体重が製品の耐荷重に近い、又は多動な場合は、大きいサイズ又はR82社製他製品をご利用ください。

製品

- ・ ご使用前に、製品・付属品の位置調整を行い、プッシュブレス、ネジ、バックル等が全て安全に固定されているか確認してください。工具はお子様の手が届かない場所に保管してください。
- ・ 工具を使わずに取り外し可能なパーツ：ホイール、フットサポート、クッション。取り外すと装置に悪影響を及ぼします
- ・ 移乗される前には、必ずブレーキをセットしてください。
- ・ 坂道でご使用される場合は必ず転

by Etac

- ・ 倒防止バーをセットしてください。
- ・ 座面、背もたれリクライニングされる前に転倒防止バーをセットしてください。
- ・ 強制的に100mm以上の力を加えたときのアンチチップを無効にする
- ・ 移乗される前には、製品が安定した状態にあるか確認してください。
- ・ 上記事項につきましては、販売店様をご利用者様に納品される際お知らせください。
- ・ ご使用前に、車輪が完全に機能し、安全であることを確認してください。
- ・ 正しいタイヤ空気圧はタイヤケーシングに印刷され、タイヤの技術データの項に記載されています。
- ・ タイヤがパンクした場合は、修理が終わるまで製品を使用しないでください。
- ・ 製品はISO 7176-19に従った車両での輸送について承認されています。詳細情報については、製品に同梱された文書「M1460 Transportation in Motor Vehicles」に掲載されています。
- ・ 本製品はISO 7176-19 附属書Dに従って、車両に取り付けられた骨盤ベルトおよび肩ベルトに対応する能力に関する評価を受けています。装置は「Good」（良）の総合評価を受けています。
- ・ 未使用の装置は陸上輸送および空輸が可能です
- ・ 追加の荷重を加えると、安定性に悪影響を及ぼすことがあります。追加の荷重をかけるためのポイント位置は、付属品のセクションで参照される関連する取り付けガイドに記載されています。
- ・ ガスダンパーを高気圧・高温の場所に置かないでください。また穴を開けないでください。
- ・ ご使用前に、製品と全ての付属品を点検し、磨耗している部品は交換してください。
- ・ 本装置は、ISO 7176-8（静的、衝撃及び疲労強度の要求事項及び試験方法）に準拠しています
- ・ 本製品は、EN 1021-2 および ISO 7176-16 に基づく非引火性レベルに対して、耐引火性テストが行なわれています
- ・ 純正のR82以外を使用すると、本製品の耐火性能が失われることがあります：クッション

by Etac

点検・整備および保守

医療機器の点検・整備および保守に関わるすべての責任は、その機器の所有者にあります。

機器の取扱説明書に従わずに点検・整備および保守を行った場合、機器の保証が無効になる可能性があります。また、機器の点検・整備および保守を行わないと、使用者やその介護者の臨床状態や安全性が損なわれる可能性があります。使用者が製品を使用している間は、点検・整備および保守を行わないでください。機器のセットアップ、使用、点検・整備および保守の方法については、必要に応じて最寄りの販売店にお問い合わせください。

製品寿命

通常使用における本製品の製品寿命は、メーカーが指示したすべての点検・整備および保守が実施され、証明できる記録が残されている場合、8年です。

再使用

本製品とアクセサリ / コンポーネントは、再使用に適しています。

再使用向けに再調整

再使用またはユーザー変更の前に、サービスチェックリスト、メンテナンス、洗浄の指示に従って、定期点検を実施してください。

点検・整備の間隔

点検の頻度は、使用状況や摩耗状況に応じて変わります。年1回、再利用開始時、長期保管（4ヶ月以上）後は製品を点検することをお勧めします。点検は、製品の使用方法を理解している人が行ってください。

点検・整備チェックリスト：

用途に応じて、以下の項目について確認・調整を行います。

- ・ ホイールが自由に可動し、ホイールロック／ブレーキが簡単に作動できるか確認します。必要であれば、調整します。
- ・ クイックリリースホイールは、取り外しや交換が可能です
- ・ タイヤ圧力
- ・ 製品のナットとボルトが締められている
- ・ 開閉部分に潤滑油を振ってください開閉部分に潤滑油をふってください。
- ・ 製品にヒビや部品の損耗がない
- ・ 製品的全ラベルが問題なく表示されている

損傷または摩耗した部品は修理または交換してください。

保守

毎回使用する前に、次のことをお勧めします。

ぬるま湯と塩素を含まない中性洗剤/石鹼に浸した布で製品の残留物や汚れを拭き

取り、乾燥させてから破損や摩耗した部品がないか目視で確認します。

洗浄

製品の主要部分

本製品は、医療機器用に設計された洗浄機で中性洗剤を使用して60°で10分間洗浄できます。洗浄機の乾燥機能を使用して製品を乾燥させます。すべてのアクセサリを取り外し、個別に洗浄します。

布とカバー

洗濯機で、中性洗剤を使用し、最高60°までの温度において、カバーを洗浄することができます。

洗浄前にフォームとカバーを分けてください。

手洗い

本製品とアクセサリは手洗いも可能です。ぬるま湯と塩素を含まない中性洗剤/石鹼で洗い、使用前にすべての部品を乾燥させてください。

消毒

本製品は、70%の消毒用IPA溶液で消毒できます。ぬるま湯と、塩素を含まない中性洗剤/石けんに浸した布で、製品の残留物や汚れを拭き取り、乾燥させてから消毒することをお勧めします。

材料

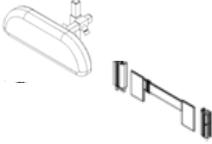
- ・ 木製物質
- ・ スチール
- ・ プラスチック
- ・ フォーム
- ・ 素材：
- ・ ステンレススチール

表面処理

腐蝕防止のため、以下の表面処理を施しています。

- ・ ラッカー塗装面 = ポリエステル粉体塗装またはEDコーティング
- ・ ラッカー塗装していないアルミニウム部品 = 陽極酸化被膜
- ・ ラッカー塗装していないスチール表面 = 亜鉛メッキ

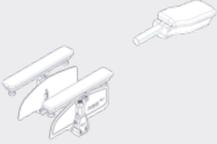
付属品



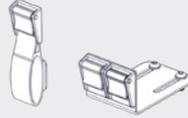
インストール手順
9996097144



ページを見る 26



ページを見る 22



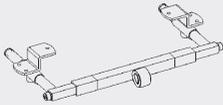
ページを見る 28



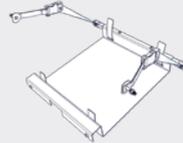
ページを見る 23



ページを見る 21



ページを見る 23



ページを見る 25



ページを見る 24



インストール手順
9996097133



ページを見る 25



インストール手順
9996097244



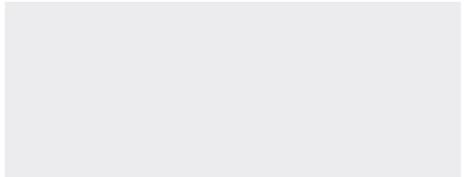
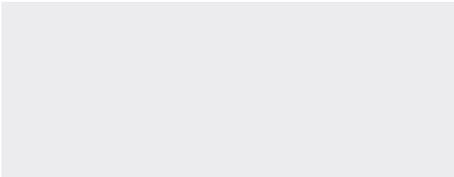
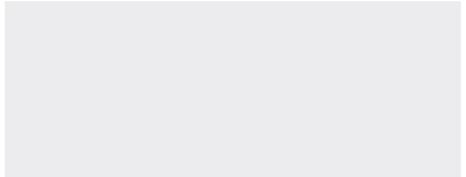
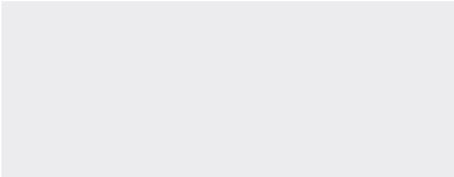
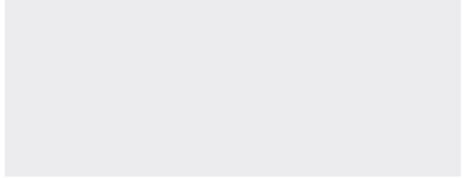
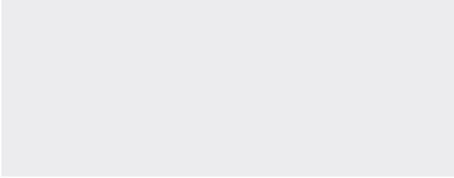
ページを見る 26

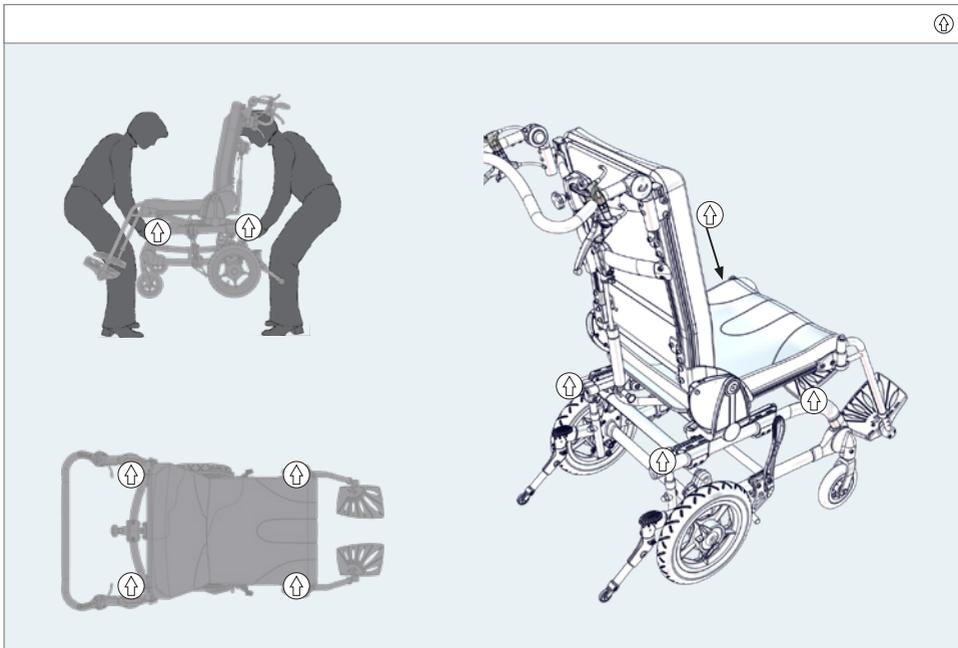
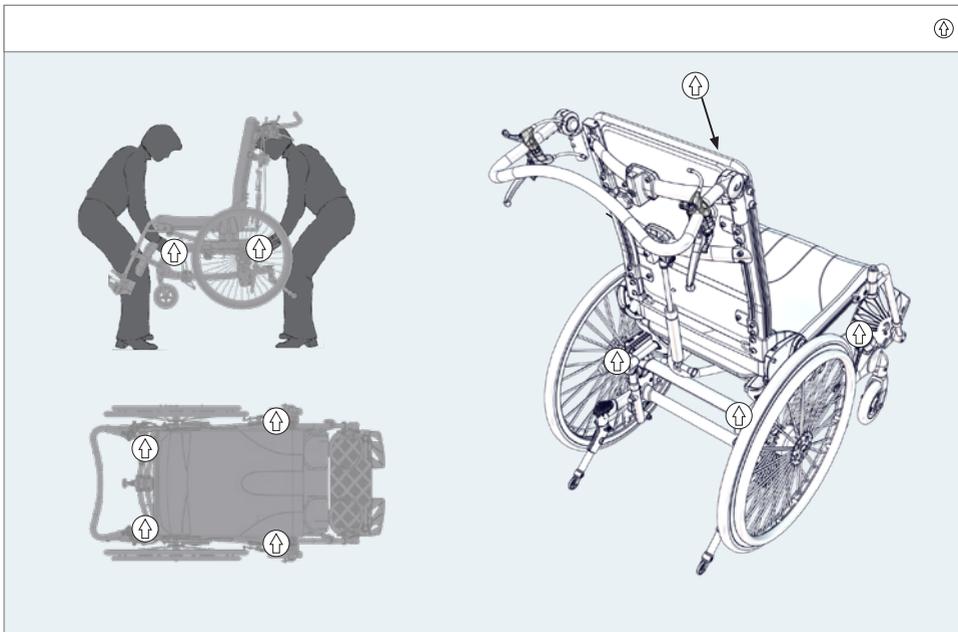


インストール手順
9996097143



インストール手順
9996097248





JP <ご使用前の準備について>

持ち運びの際、コンパクトに収納することが可能です。

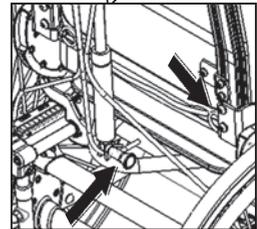
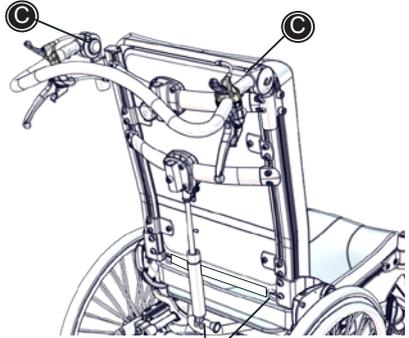
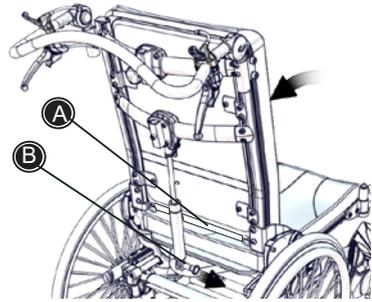
下記の手順にて、ご準備ください。

- 1) 所定の位置にセットするために、シートを後ろへ引いてください。
- 2) (A) のストラップを後ろへ引いて、背もたれを垂直にセッティングしてください。
- 3) (B) のピンを引きガスダンパーを所定の位置に合わせて、ピンを戻してください。その際、“カチッ”と音が鳴りしっかり固定されているか確認してください。
- 4) プッシュ・プレスの両サイドのレバーを回して、ご希望の位置で固定してください。(C)

以上で、お使いいただける状態になります。



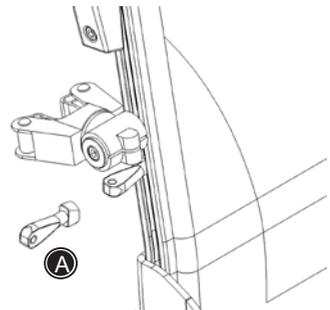
座面（ティルト）リクライニングを後方に倒す際、ストラップ (A) の両端、ガスダンパーのピン (B) が所定の位置に確実にセットされているか確認してください。（セットの際、“カチッ”と音が鳴ります）



JP <T型工具>

T型工具 (A) は、サイド・サポート等の取付けや調節の際、センターバーの溝にある固定プレートが動かないよう補助するための工具です。

工具を溝に挿し、90度回転させてプレートが落ちないように下げてください。



JP <車いすの乗り降り について>

Cougarのシートにお座りになる前に、必ずブレーキを規定の位置でロックしてください。

ご利用者をシートに乗せ、快適な姿勢になるように、アクセサリーを調節してください。

リフト（スリングシート）でCougarに乗り降りされる場合は、レッグレストを外す必要はありません。

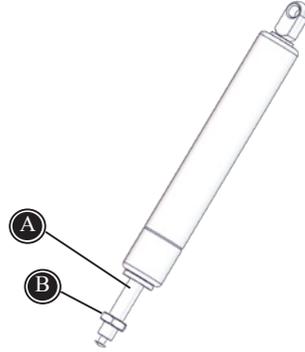
JP <ガスダンパーの調整>

ガスダンパーの調整が必要な際は、下記の手順に従って行ってください。（調整は下記の時のみ必要です。）

- ガスダンパーが自然に下がってくる。（ティルト角度が自然に下がってくる）
- ガスダンパーが全く動かない。（ティルト角度の調節ができない）

ガスダンパーが自然に下がってくる（ティルト角度が自然に下がってくる）場合 17mmのスパナでナット（B）を緩め、バイスプライヤー等でピストン棒（A）を座面側から見て反時計回りに回してください。再び、ナット（B）を締めてください。

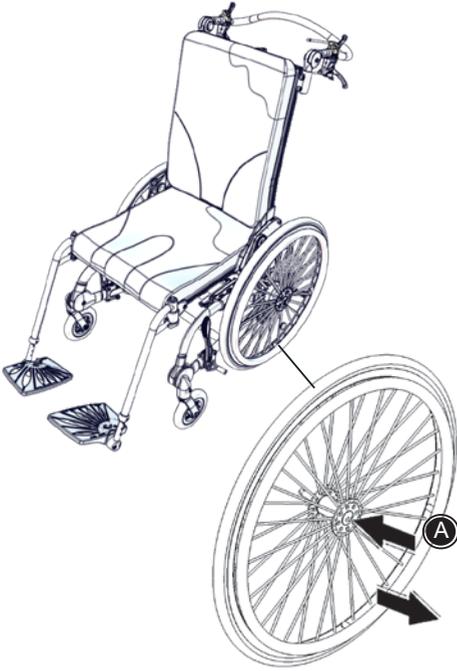
ガスダンパーが全く動かない（ティルト角度が調節できない）場合 17mmのスパナでナット（B）を緩め、バイスプライヤー等でピストン棒（A）を座面側から見て時計回りに回してください。再びナット（B）を締めてください。



ガスダンパーに圧をかけたり、高温にさらしたり、穴をあけたりしないでください。



ピストン棒を傷つけないでください。ガスダンパーを調整する際は、布などをお使いください。



JP <クイックリリース機構>

Cougar後輪車輪は、クイックリリース機構（標準装備）により、ワンタッチで車輪が脱着できます。（A）車輪中央の脱着ボタンを押しながら車輪の取外しを行ってください。

車輪中央の脱着ボタン（A）を押してください。シャフトをスライドさせて、車いすから離してください。

⚠ 車輪を戻す際は、リリースピンの頭を押しながらロックを外し、確実に戻してください。

⚠ ロックが正しい位置に戻り、車輪が固定されているか（外れないか）確認してください。

JP <座面（ティルト） &背もたれリクライ ニング機構>

座面（ティルト）リクライニング機構

プッシュプレスについている左のレバー（A）を握ると座面の角度調節が行えます。

Cougarはガスダンパーの有無にかかわらず、背もたれのリクライニングが可能です。下記の手順に従って、背もたれの角度を調節してください。

背もたれリクライニング機構（ガスダンパー付）

プッシュプレスについている右のレバー（B）を握ると、背もたれの角度調節が行えます。

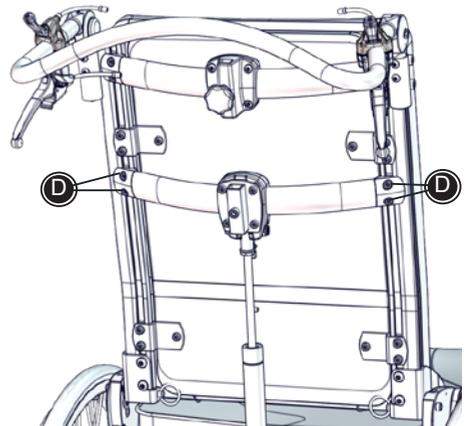
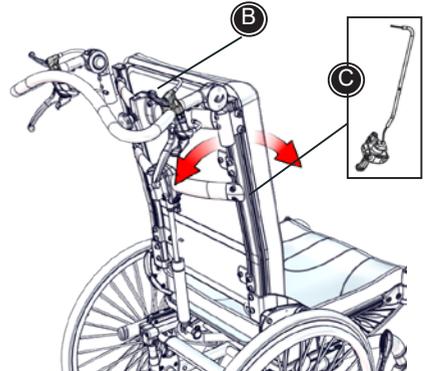
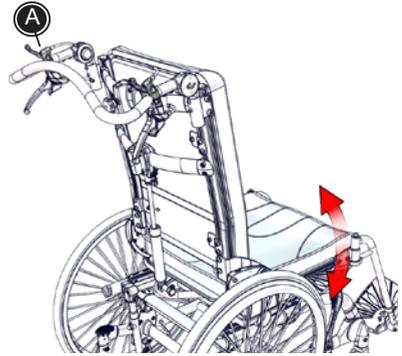
背もたれリクライニング機構（手動）

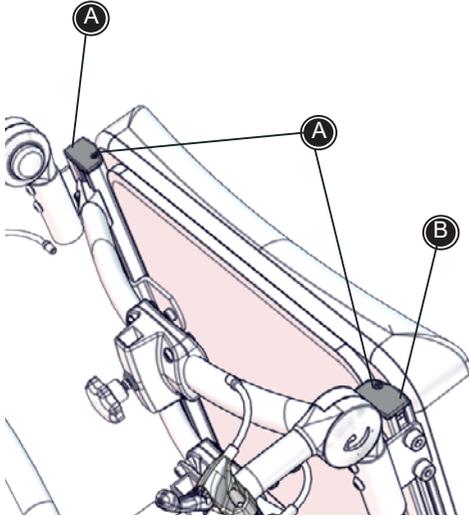
背もたれサイドレールにハンドル（C）を取付けてください。

その場合、リクライニング角度調節は車いすに乗ったままでも簡単に行えます。

背もたれリクライニング機構（固定バー付）

ネジ（D）を5mmの六角レンチで緩め、クロスバーの高さを調節いただくと、自動的に背もたれの角度が変わります。ご希望の位置でネジを締めてください。





JP <プッシュブレス取付方法>

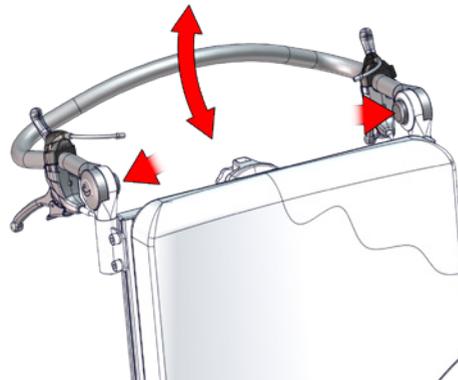
下記の手順に従って、プッシュブレスを取付けてください。

- 1) フレーム上部のキャップ (A) を外してください。
- 2) プッシュブレスをサイドレールにスライドさせ、両側2箇所づつネジで締めてください。



プッシュブレスが動かない様しっかり固定するために、サイドレール内に溝があります。上側の固定ネジをその溝まで締めてください。

- 3) 最後にキャップ (A) を取付けてください。



JP <プッシュブレス調節>

介助者の身長に合わせ、プッシュブレスの角度を変えることができます。



特に階段において、プッシュブレスで車いすを引いたり、持ち上げたりしないでください。

JP

< 転倒防止バー >

転倒防止バーは標準装備されております。フレーム後方にあります。

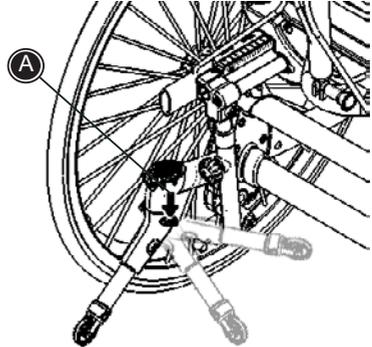
足でバーを下げ (A)、180° 回転させてセッティングしてください。



シートをリクライニングさせた時は必ず転倒防止バーをセッティングしてください。



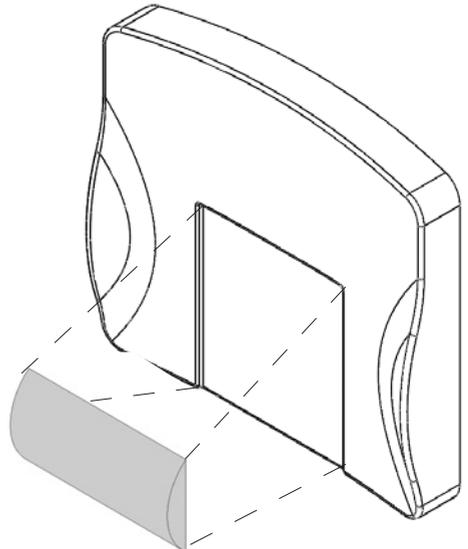
定期的に、転倒防止バーが適切に作動するかチェックしてください。



JP

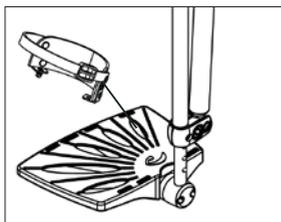
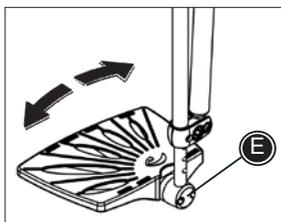
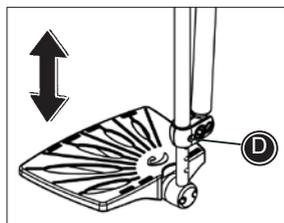
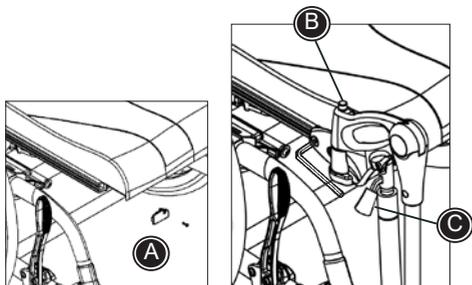
< ランバーサポート調節 >

- * カバーを外してください。
- * ランバーサポートをご希望の位置に合わせ、背もたれクッションのマジック部分に付けてください。
- * 最後にカバーをかけてください。



JP <レッグレスト&フットプレート>

下記の手順に従って、レッグレストを取付けてください。



- 1) レッグレストの取付：
サイドレール先端部分のキャップ (A) をドライバーで外してください。取付部品を付属の5mmレンチで留め、キャップ (A) を取付けてください。レッグレストを取付部品にセットしてください。リリースボタン (B) を押し、取付け/取外しを行ってください。取付けの際は、“カチッ” と音が鳴る位置まで押してください。
- 2) ”開閉” 機構：
リリースボタン (B) を押しながら、レッグレストを少し引上げると横へ開くことができます。ご使用の際、レッグレストを戻される場合は、リリースボタン (B) が ”カチッ” と音が鳴る位置にセットしてください。
- 3) レッグレストの角度調節：
レバー (C) を下へ押し、レッグレストをご希望の角度に調節してください。
- 4) フットプレートの高さ調節：
付属の5mmレンチで、ネジ (D) を外してください。フットプレートの高さを調節し、固定してください。
- 5) フットプレート角度調節：
付属の5mmレンチで、ネジ (E) を緩めてください。左右別々にご希望の角度に調節し、固定してください。
- 6) ヒールストップの取付：
ヒールストップをフットプレートに置き、取付穴に付属のネジで固定してください。

JP シート高さ調節

下記の手順に従って、シートの高さ調節を行ってください。

- 1) ノブネジ (A) を緩め、フレームからボルトを抜いてください。
- 2) ご希望の位置に高さを調節してください。
- 3) 再度、ボルトで固定してください。



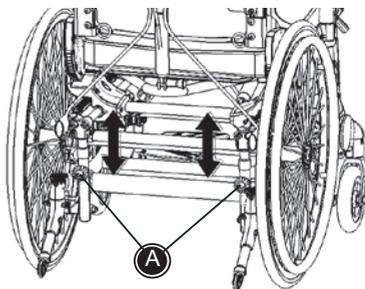
シートの高さは左右対称にしてください。



シートの高さ調節の際は、座面角度が変わりますのでご注意ください。



高さ調節を行っている間は、椅子に乗らないでください。



JP スライドバー調節機構

プッシュプレスについている右のレバー (A) を握り、背もたれ裏のガスダンパーをリリースしてください。

初期設定のために、シートを後方に引いてください。

下記の手順に従って、スライドバーを調節してください。

- 1) ガスダンパーの下部のピン (B) を外してください。
- 2) 座面裏ネジ (C) を緩め、ご希望の位置に調節後、ネジを締めてください。
- 3) ネジ (D) を緩めてください。ガスダンパーの下の部分が元の位置に戻せる高さにスライドバーを調節し、ネジ (D) をしっかり締めてください。



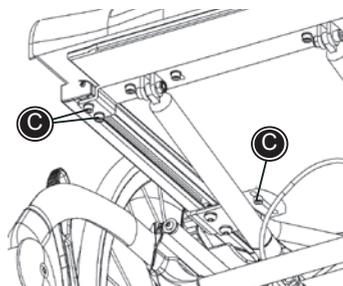
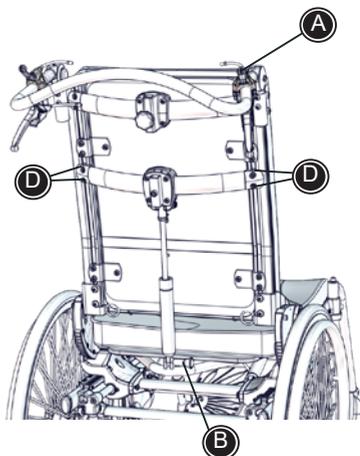
座面裏の取付けは、フレームの左右同じ位置で取付けてください。

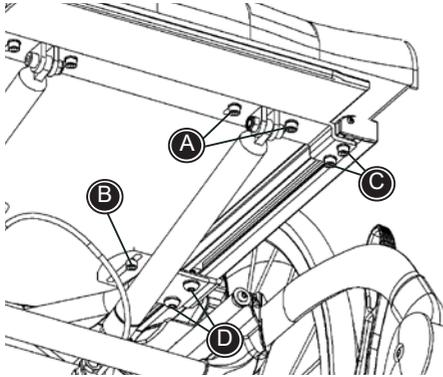


スライドバーは、左右同じ高さでセッティングしてください。



座面角度の調節の間は、椅子に乗らないでください。





JP 座面奥行き調節

プッシュプレスについている右のレバーを握り、背もたれ裏のガスダンパーをリリースしてください。

初期設定のために、シートを後方に引いてください。

座面奥行きは10cm調節可能です。下記の手順に従って、調節を行ってください。

- 1) 座面を後傾させ、レッグレストを外すと、座面プレート（木製）が調節しやすくなります。
- 2) 付属の5mmレンチで、ネジ（A）（B）を外してください。
- 3) プレートをご希望の位置へ動かしてください。（5cm間隔で穴が開いています）
- 4) ネジ（A）（B）をしっかり締めてください。
- 5) ネジ（C）（D）を緩め、レールを前後に動かしてください。
- 6) ご希望の位置でネジ（C）（D）を締めてください。



上記の調節を行っている間は、シート角度調節用のレバーを動かさないでください。



背もたれのスライドバーは左右で同じ位置になるようにセットしてください。

JP ブレーキレバー

ブレーキレバーはフレームの下方に装備されていますので、ご利用者、介助者の方とも操作することが可能です。

- * ハンドルを前方に押すとロックがかかります。
- * ハンドルを後方に引くとロックが解除されます。

ブレーキレバーは前後に動かすことができますので、車輪サイズやお好みにより効き具合を調節してください。ブレーキレバーを後方にセットすると効きが強くなり、前方にセットすると弱くなります。

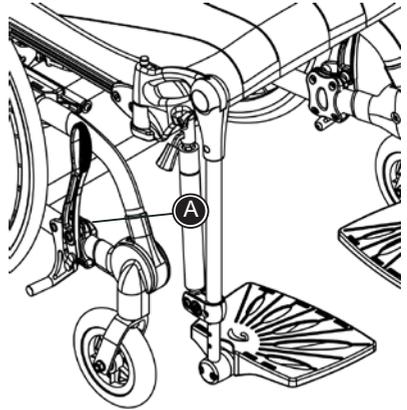
調節は、付属の4mmレンチでネジ (A) を緩め、ご希望の位置でしっかり締めてください。

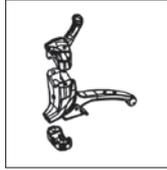
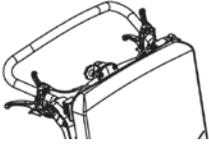


ブレーキレバーの性能を維持するために、後輪車輪の空気圧を適正に保たれることをお薦め致します。
55PSI/3,8bar/380kPa



安全にご使用いただくために、車輪とブレーキレバーの間は8～10mmあけてください。





JP ドラムブレーキ

ドラムブレーキはプッシュプレスに装備されておりますので、介助者の方が操作してください。

- * レバーを握るとブレーキがかかります。
- * 赤いレバーを引くと、ブレーキが解除されます。

JP 前・後輪車輪の組合せ

推奨されます前・後輪車輪の組合せは以下の通りです。

シートの高さ調節をご希望される場合は、P17<シートの高さ調節>をご参照ください。



車輪の組合せ：

	12½"	20"	22"	24"
6"	✓	✓	✓	✓
8"	✓	-	✓	✓



車輪のサイズを変更される場合、フロントフォークの角度がとても重要です。車輪の回転性を適切に保つために、左右両方のフロントフォークを同じ角度に保ち、地面に対し垂直にセッティングしてください。

転倒防止バー設定：（ショート：短設定 ロング：長設定）

	12½"	20"	22"	24"
6"	ショート	ショート	ロング	ロング
8"	ショート	-	ロング	ロング

JP 重心位置の変更

座面と車輪の位置を変更することで、重心重心移動（ウエイトシフト）が可能です。

座面位置：

- 1) 後輪車輪を外してください。
- 2) フレーム両サイドの4つのネジ (A) を緩めてください。
- 3) 高さ調節部 (B) を外してください。
- 4) フレームを両側に少し引き、シートを前後に動かしてください。(A、B又はCの位置に) 取付部 (C) が所定の位置 (“カチッ” と音が鳴ります) にセッティングされているか確認してください。

車輪位置：

- 1) 高さ調節部 (D) を外してください。
- 2) フレーム両サイドのサスペンション (E) を外してください。
- 3) フレームからシートユニットを外し、プラスチック部 (F) から7つのネジを外してください。外側のカバープレートが外せるようになりますので、フレームの内側の穴から小さいプラスチックの栓を抜いてください。
- 4) クロスバー上のサスペンションがご希望の位置に動かせるようになっております。(A、B、又はCの位置へ) ご希望の位置にサスペンションを合わせ、“カチッ” と音が鳴り、しっかり固定されているか確認してください。
- 5) ネジとカバープレートを再度締めてください。プラスチックの栓を座面の穴に取付け、サスペンションと後輪をセッティングしてください。

車輪位置変更の際、ブレーキレバーは前後に調節する必要があります。



24インチ車輪がAの位置で設定された場合は、ドラムブレーキが必要になります。



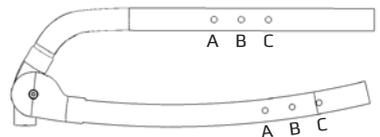
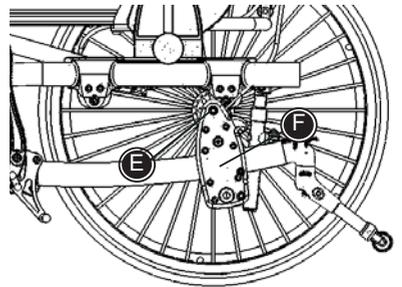
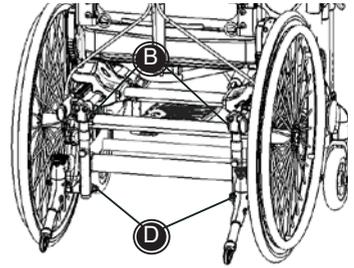
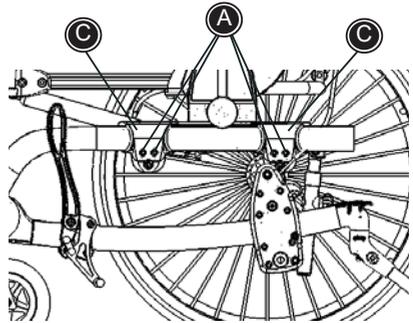
座面位置調節はお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

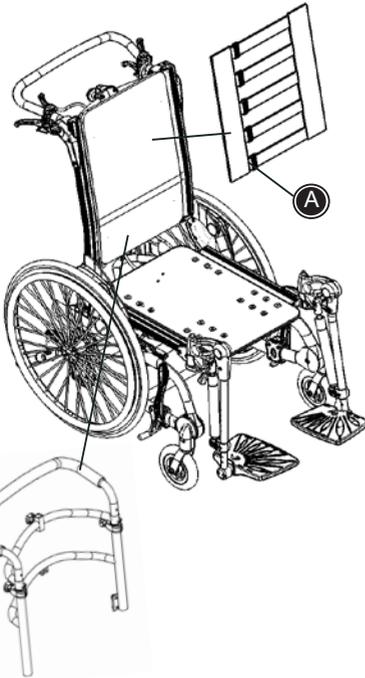


全てのネジがしっかり締まっている事が重要です。特に重心の位置調節を行った後は必ず点検してください。



重心位置調節のために椅子を前に出した場合は、必ず転倒防止バーをセッティングしてください。





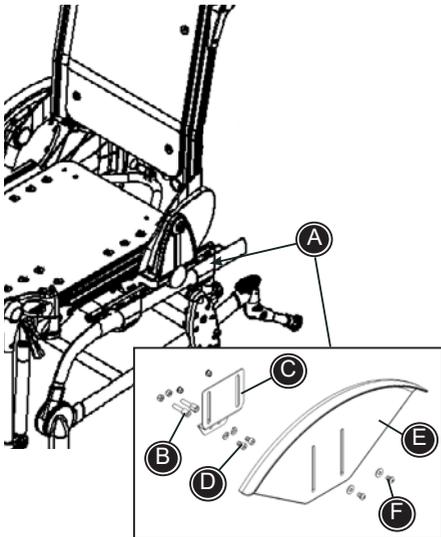
JP 各種背もたれ

Cougarの背もたれは木製合板タイプ・スリングタイプ・特注品対応タイプ、いずれかよりお選びいただけます。

合板タイプ：
木製合板が取付けられています。

スリングタイプ：
スリングが取付けられています。スリングの張り調節により、ランバーサポートの量を調節することが可能です。スリングはマジックテープ (A) にて調節してください。

特注品対応タイプ：
特注品の背もたれを取付けることが可能です。”特注”背もたれと取付部品は後ろのチューブの周りに取付けることができます。



JP 泥よけ

下記の手順に従って、正しく取付けてください。

- 1) フレームの後部 (A) に取付部品をセットしてください。2つのネジを外して、付属部品 (B) を取付けます。
- 2) 付属のスプリングワッシャーとボルト (A) を使って、取付部品 (C) をセットしてください。取付けの際は、5 mm レンチをご使用ください。
- 3) 最後に泥よけ (E) を取付部品にセットしてください。ボルト、ワッシャー、ナットは、できる限りレールの上にあげてしっかり締めてください。

⚠ 調節部品の上に泥よけを取付けることは、調節機構の劣化防止に最適です。

JP

サイドプレート付 アームレスト&アーム レスト延長部

ネジを緩め、サイドレール端のキャップを外してください。アームレスト取付部品 (A) を座面レールにセットし、付属の 5 mm レンチで締めてください。

アームレストは前後にスライドしますので、ご希望の位置にセットしてください。

アームレストを受け部品 (A) に差込んでください。ボタン (B) を押して、アームレストの高さ調節を行ってください。ボタンを離すとその高さで固定されます。

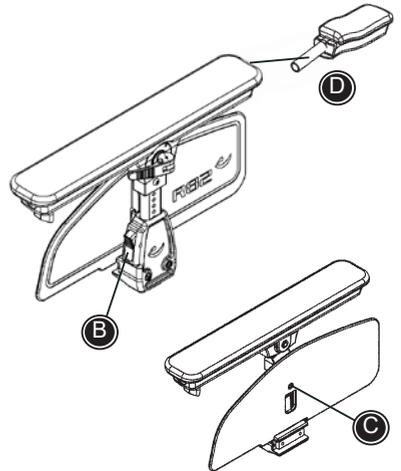
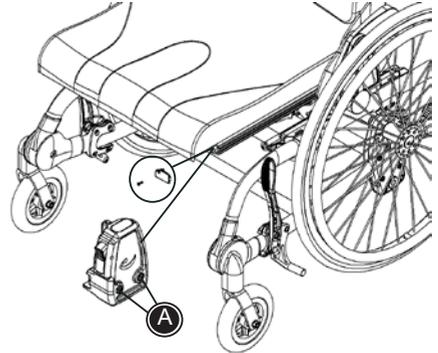
サイドプレート：

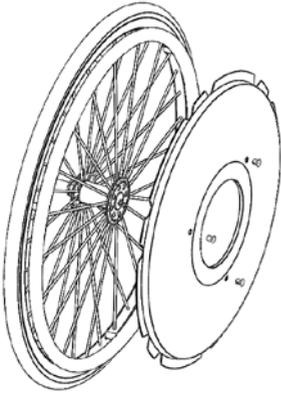
サイドプレートは高さ調節することができます。付属の 5 mm レンチでネジ (C) を外し、ご希望の高さでネジを締めてください。

サイドプレートはアームレストなしでもご使用いただけます。サイドプレートを取外し、アームレスト受け部品の小さな穴に取付けてください。(その位置では高さ調節は行えません)

アームレスト延長部品

アームレストは延長部を取付けることができます。アームレスト (D) の端にアームレスト延長部を取付け、ネジで締めてください。

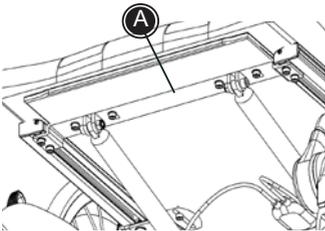




JP スポークカバー

下記の手順に従って、スポークカバーを取付けてください。

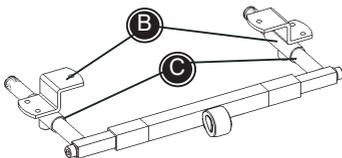
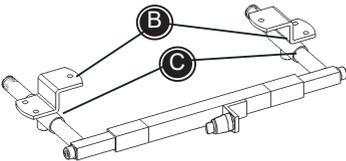
- * スポークにセットしてください。
- * スポークカバーの穴にクリップを通し、固定してください。（“カチッ”と音が鳴ります）



JP フットサポート取付

Cougarのフットサポート、フットサポートバーは数種類よりお選びいただけます。下記の手順に従って、正しく取付けてください。

- * シート裏の部品 (A)を外して、部品 (B)に取替えてください。
- * 部品 (B)にパイプ (C)をセットしてください。
- * ご希望のフットサポートを取付けてください。



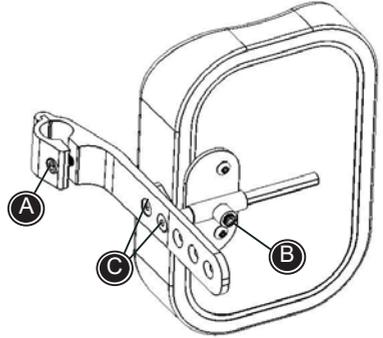
JP レッグサポート

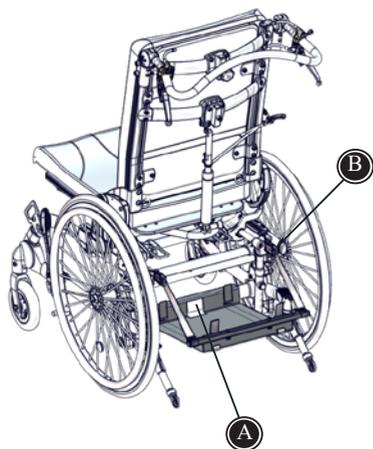
レッグサポートは高さ・角度の調節が可能です。

- * 高さ調節：ネジ (A)を緩めてください。
- * スライド調節：ネジ (B)を緩めてください。
- * 角度調節：ネジ (B)を緩めてください。
- * 奥行き調節：ネジ (C)の位置を変えることで行えます。



ご使用の際は全てのネジがしっかり締められているか確認してください。



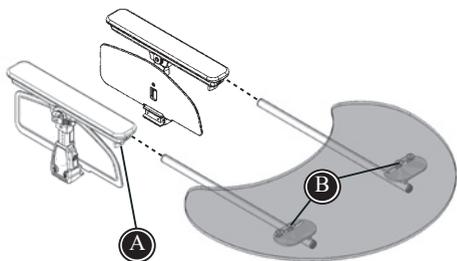


JP 杖ホルダー

フレームの一番上と下にそれぞれ取付けてください。

JP 呼吸器搭載台

- * フレーム最下部に呼吸器搭載台をセットしてください。(A)
- * フレーム両サイドに5 mmの穴を開け、付属のボルト付ストラップを取付けてください。(B)
- * 呼吸器搭載台が水平になるようにストラップの長さを調節してください。呼吸器搭載台は簡単に取外すことができるように設計されておりますので、移送の際はご注意ください。



i 一度セットされますと、付属のストラップを使ってしっかり固定することができます。

i お取付けの際は、お買い求めいただきました販売店にご相談ください。

JP テーブル

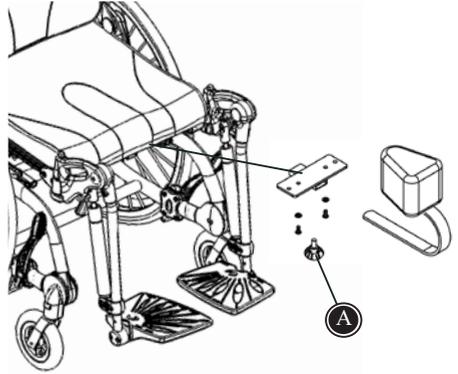
アームレストの先端に取付け、ネジで固定してください。(A)

付属の5 mmレンチで幅 (B)の調節を行ってください。

JP 内転パット

座面合板に穴が開いていますので、付属の4mmレンチで受け金具を取付けてください。

内転パットを受け金具に差し込み、固定ネジ (A) で締めてください。

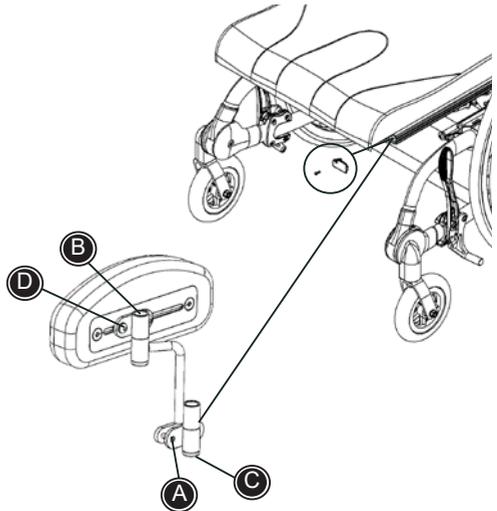


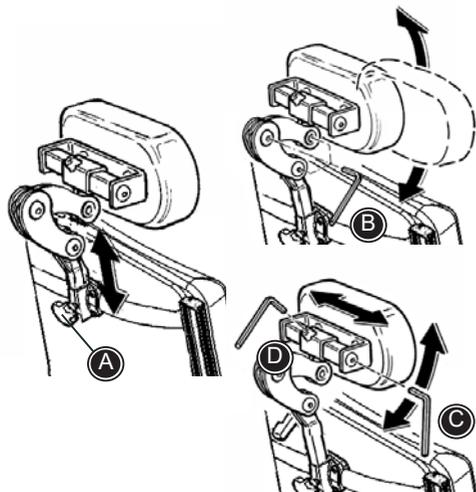
JP ヒップサポート

ネジを緩め、サイドレール先端のキャップを外してください。ヒップサポートを取付け、付属の3mmレンチで締めてください。

ヒップサポートは多様な調節が行えます。ネジ (B)、(C) を緩めてください。ご希望の位置に調節し、付属の5mmレンチで締めてください。

ヒップサポートは奥行き調節も可能です。付属の3mmレンチでネジ (D) を緩め、ご希望の位置にセットし、再度ネジを締めてください。



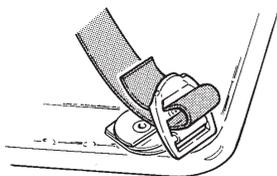


JP ヘッドサポート

背もたれ裏の受け部品にヘッドサポートを差込み、ネジ (A) でしっかり締めてください。

ネジ (B) を緩めて、ヘッドサポートの位置を調節してください。先に全てのネジを緩めておくことをお勧めいたします。調節後、全てのネジを締めてください。

ヘッドサポートの角度調節は (C)、左右調節は (D) のように行ってください。



JP ベスト&ベルト

Cougarには、ヒップサポート等ベルト用の取付部品が標準装備されております。

クロス式ベルトやその他ベルトを取付けることも可能です。



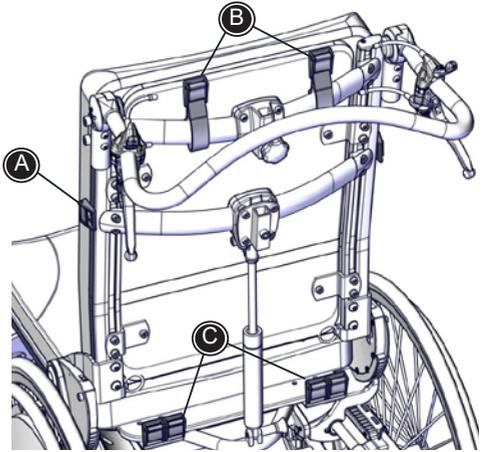
全ての固定部品、調節部品が正しく機能しているか、定期的に確認してください。

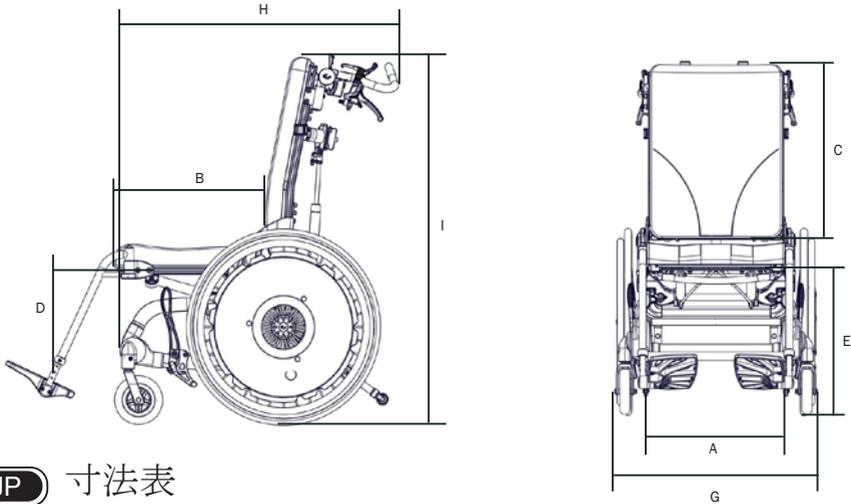
JP フィックスロック

フィックスロック（ベルト固定部品）は、座面・背もたれ (A) のどちらのレールにも取付けることができます。Vトラック付のフィックスロックは、レールに取付けます。Vトラックを水平方向に向けてください。付属の3mmレンチで取付けている間、フィックスロックを外側に引いてください。

ストラップ付フィックスロック（2つ）は、背もたれ (B) のバー（最上部）に取付けることができます。ストラップをバーに巻きつけ取り付けてください。バックルでストラップを留めて、安全に締めてください。

フィックスロックは、座面 (C) の裏に取付けることも可能です。木製合板の上側の穴にフィックスロック付部品をセットしてください。付属のネジで部品を締めてください。





JP 寸法表

	サイズ 1 mm (inch)	サイズ 2 mm (inch)	サイズ 3 mm (inch)	サイズ 4 mm (inch)
座面幅	350 (13 $\frac{1}{2}$ ")	400 (15 $\frac{1}{2}$ ")	450 (17 $\frac{1}{2}$ ")	500 (19 $\frac{1}{2}$ ")
座面奥行き	370-470 (14 $\frac{1}{2}$ -18 $\frac{1}{4}$ ")	370-470 (14 $\frac{1}{2}$ -18 $\frac{1}{4}$ ")	430-530 (16 $\frac{3}{4}$ -20 $\frac{3}{4}$ ")	490-590 (19-23")
背もたれ高さ	450 (17 $\frac{1}{2}$ ")	500 (19 $\frac{1}{2}$ ")	600 (23 $\frac{1}{2}$ ")	600 (23 $\frac{1}{2}$ ")
レッグレスト : エレベータリング式での膝下長さ	280-460 (11-18")	280-460 (11-18")	280-460 (11-18")	280-460 (11-18")
レッグレスト : 固定式での膝下長さ	240-420 (9 $\frac{1}{4}$ -16 $\frac{1}{4}$ ")	240-420 (9 $\frac{1}{4}$ -16 $\frac{1}{4}$ ")	240-420 (9 $\frac{1}{4}$ -16 $\frac{1}{4}$ ")	240-420 (9 $\frac{1}{4}$ -16 $\frac{1}{4}$ ")
座面までの高さ	460-530 (18-20 $\frac{3}{4}$ ")	460-530 (18-20 $\frac{3}{4}$ ")	460-530 (18-20 $\frac{3}{4}$ ")	460-530 (18-20 $\frac{3}{4}$ ")
全幅 22" ドラムブレーキ車輪	570 (22 $\frac{1}{4}$ ")	620 (24 $\frac{1}{4}$ ")	670 (26 $\frac{1}{4}$ ")	720 (28")
全長 (レッグレストを除く)	780 (30 $\frac{1}{2}$ ")	780 (30 $\frac{1}{2}$ ")	830 (32 $\frac{1}{4}$ ")	830 (32 $\frac{1}{4}$ ")
全高 (背もたれまで)	960 (37 $\frac{1}{2}$ ")	990 (38 $\frac{1}{2}$ ")	1080 (42")	1100 (43")
レッグレストを外して折り畳んだ状態	780 (30 $\frac{3}{4}$ ")	780 (30 $\frac{3}{4}$ ")	830 (32 $\frac{3}{4}$ ")	830 (32 $\frac{3}{4}$ ")
全幅 22" ドラムブレーキ車輪	660 (25 $\frac{3}{4}$ ")	660 (25 $\frac{3}{4}$ ")	660 (25 $\frac{3}{4}$ ")	660 (25 $\frac{3}{4}$ ")
全高	780 (30 $\frac{1}{2}$ ")	780 (30 $\frac{1}{2}$ ")	830 (32 $\frac{1}{4}$ ")	830 (32 $\frac{1}{4}$ ")
全長 (レッグレストを除く)	880 (34 $\frac{1}{4}$ ")	940 (37 $\frac{1}{4}$ ")	970 (37 $\frac{3}{4}$ ")	1000 (39")
マスマデバイス	25 kg (55 lb)	26 kg (57 lb)	27 kg (59.5 lb)	28 kg (61.5 lb)
最大ユーザー質量	75 kg (165 lb)	75 kg (165 lb)	100 kg (220 lb)	120 kg (264 lb)
輸送における最大ユーザー質量	75 kg (165 lb)	75 kg (165 lb)	75 kg (165 lb)	75 kg (165 lb)
最大定格負荷	102 kg (224.8 lb)	103 kg (227 lb)	129 kg (284.3 lb)	150 kg (330.9 lb)
角度				
ティルト角	37° (45°)	37° (45°)	37° (45°)	37° (45°)
背もたれ	35°	35°	35°	35°
レッグレスト	90°	90°	90°	90°

上記寸法表は次の設定における寸法です。標準的な車輪位置で22"後輪と6"前輪の組合せ 座面 : 水平位置 背もたれ : 垂直位置 レッグレストとクッションは種類に豊富にありますので、重量表記はそれらを含んでおりません。異なるセッティングでは、測定値が変わることがあります。

製品安全性

バリエーションと設定により、車椅子は推奨寸法より大きくなる場合があります。

推奨される全幅と全長に遵守し、緊急避難経路の妨げにならない使用を保証します。（表1を参照）

表1

推奨寸法	使用する準備 (mm)
全長 - 最大	1200
全幅 - 最大	700
全高 - 最大	1200
回転直径 - 最大	1000
旋回運動 - 最大	1300
地上高 - 最小	30

製品安全性

電車での移動可能について、移動可能な車椅子の許容を満たさない場合があります。該当する特定の製品が制限を満たしているかどうかを確認するために措置を講じることができます。（表2を参照）

表2

列車で輸送可能な車椅子についての制限	
全長 - 最大	1200 mm + 50 mm (脚用)
全幅 - 最大	700 mm + 50 mm (各側での手)
全高 - 最大	1375 mm (1375mm (95パーセントイル男性乗員を含む))
回転直径 - 最大	1500 mm
最小の歯車	水平75 mmおよび垂直50 mmのギャップに対応
重量 - 最大	200 kg手動の車椅子を使用者 (荷物を含む)
超えられる障害物の高さ - 最大	50 mm
地上高 - 最小	前方に行くのに、10° の上向きの斜面の角度が付いている 60mm のフットレスト
車椅子が安定する安全な傾斜 - 最大	あらゆる方向に6° の動的安定性 ブレーキをかけた状態を含む、全ての方向への9° の静的安定性

JP テクニカルデータ

フレーム： 粉黛塗装 アルミニウム
プラスチック部品： 合成ガラス強化ナイロン
クッション： 耐火性ウレタン
カバー： 耐火性生地CS

JP 製造者

R82 A/S
Parallevej 3
8751 Gedved
Denmark



Etac Ltd.

Unit 60, Hartlebury Trading Estate,
Hartlebury, Kidderminster,
Worcestershire, DY10 4JB
+44 121 561 2222



Gelbart AG

Tribschenstraße 64
CH-6005 Luzern
+41 41 367 70 17



R82 A/S

Parallevej 3

DK-8751 Gedved



+45 796 858 88



R82@etac.com



www.etac.com

